

海洋ゴミを資源に変え、豊かな未来を創造します

企業名

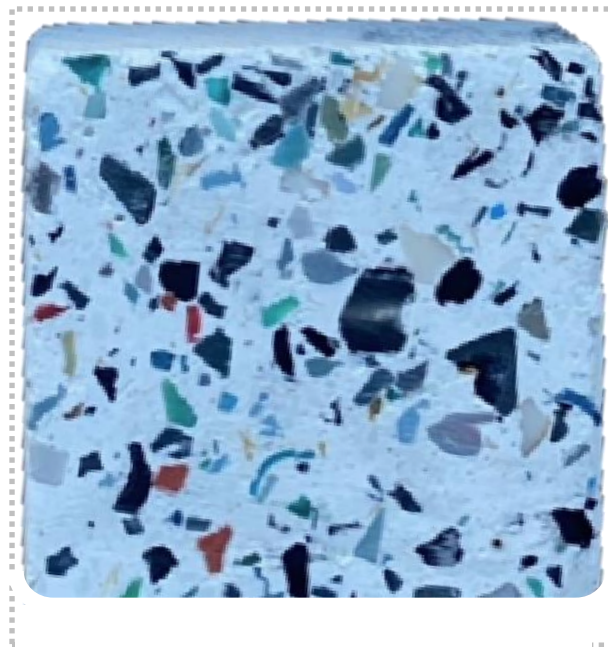
合同会社ESSH

(URL) <https://esshcorporation.moo.jp>



事業内容

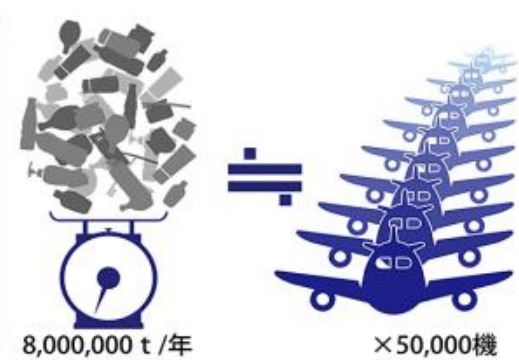
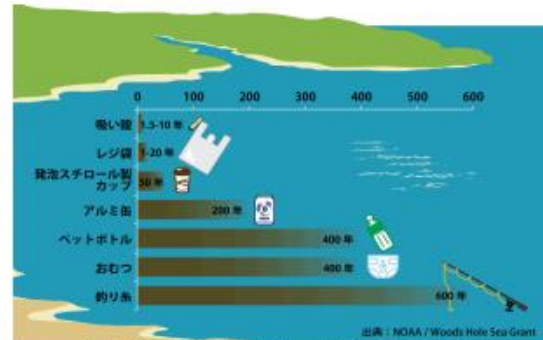
多機能性、セメント用添加薬液の製造販売
環境基準に該当する重金属を化学的に無害化



希望マッチング先

海洋プラスチックのマテリアルリサイクルや、重金属の無害化にお悩みの業種
マッチング先に提案したい技術、提携したい事業などについて、具体的、かつ、簡潔にご記入ください。

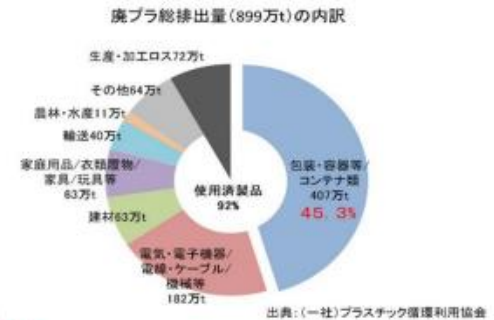
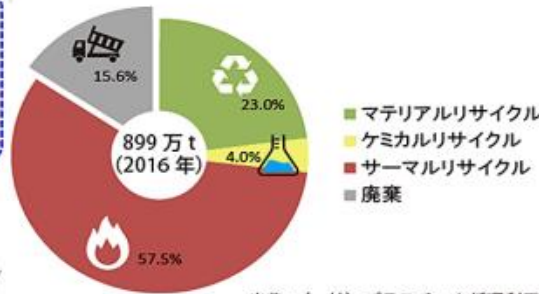
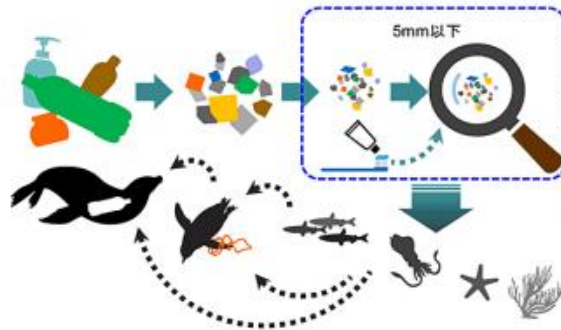
海洋生物も人も危ない！ 恐怖のマイクロプラスチック！ 瀕死の海を救おう！！ できることを今！



プラスチックが最終的にたどり着くのが「海」

海洋ごみが分解されて細かくなる年数

世界の海に存在しているといわれるプラスチックごみは**1億5,000万トン**、そこへ少なくとも年間**800万トン**(ジェット機5万機分)が流入



プラスチックごみの問題を解決するために必要なことの基本は**”3R”**

- ①**リデュース(Reduce)** = 出すごみの総量を減らす ②**リユース(Reuse)** = 再利用 ③**リサイクル(Recycle)** = 再生産

日本で今すぐ！ 取り組むべきこと

使い捨て用プラスチックを中心とした**リデュース**「**使わない意識と努力**」(削減)

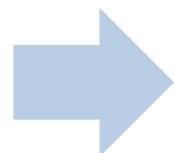
使い捨て・ポイ捨てからの脱却 ⇒ **継続使用・使い回しできる素材への移行**

サーマルリカバリーを含む燃焼処理からの脱却 ⇒ **マテリアルリサイクルへの転換**

海洋プラスチックを資源に！『Z.E.R.O』でアップサイクル・イノベーション

「サーマルリサイクル」⇒《マテリアルリサイクル》で目指す『環境改善』
成型まで時間短縮、熱処理不要、成型も楽・安全

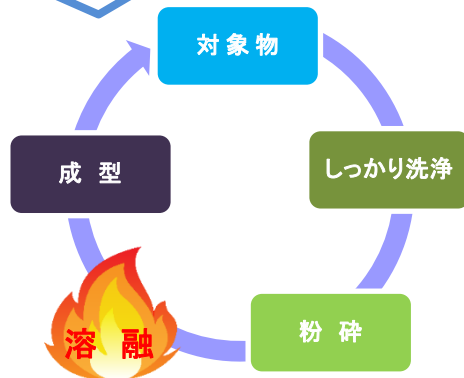
様々な産業廃棄物や海洋プラスチック



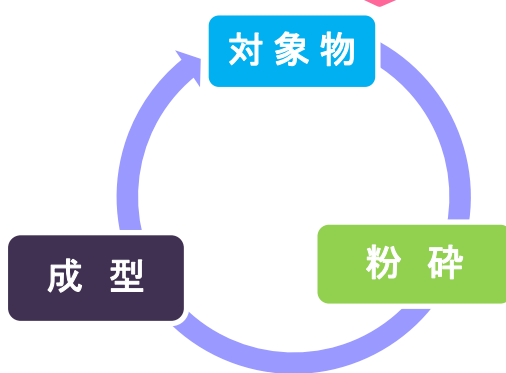
常温加工・二次利用



一般的な工程



固化液を使用した工程



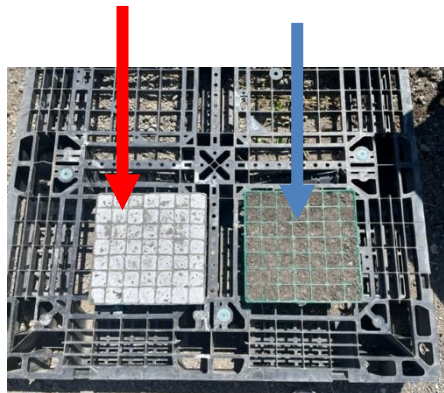
各企業との共同作成中の写真 一例

提供可能シーズ(技術・製品)内容

焼却灰の再利用

Z.E.R.Oあり

Z.E.R.Oなし



有機物ゴミブロック



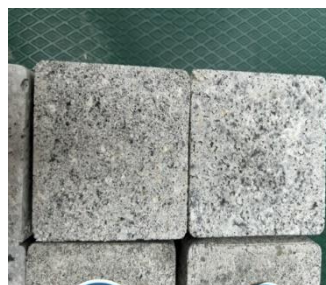
海洋プラスチック タイル



残土左官



ZERO 配合試験		R4年7月8日供試体径10cm×高さ20cm				自然養生		R4.7.18		
配合材料		①粗骨材	③セメント	④水	⑤ZERO	⑥ach(灰)	質量kg	荷重kg	強度N/m ²	試験日7/14
(比重) g/l		1,500	1,600	1,000	1,000	600				
配合	供試体									
1	1-1	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	—	6.0 kg	3,038 kg	6,500 kg	8.2 t/m ²	
	1-2	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	—	6.0 kg	3,111	7,300	9.30	
	1-3	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	—	6.0 kg	2,995	3,800	4.80	
2	2-1	16.5 kg	12.8 kg	7kg	—	6.0 kg	3,173	10,350	13.10	
	2-2	16.5 kg	12.8 kg	7kg	—	6.0 kg	3,147	14,040	18.30	
	2-3	16.5 kg	12.8 kg	7kg	—	6.0 kg	2,934	4,600	5.90	平均 9.933
3	3-1	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	0.26kg	6.0 kg	3,175	16,000	20.40	
	3-2	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	0.26kg	6.0 kg	3,146	15,900	20.20	
	3-3	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	0.26kg	6.0 kg	3,175	18,500	23.60	
4	4-1	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	0.26kg	6.0 kg	3,217	18,700	23.80	
	4-2	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	0.26kg	6.0 kg	3,233	17,500	22.30	
	4-3	16.5 kg	12.8 kg	6.4 kg	0.26kg	6.0 kg	3,251	18,200	23.20	平均 22.25

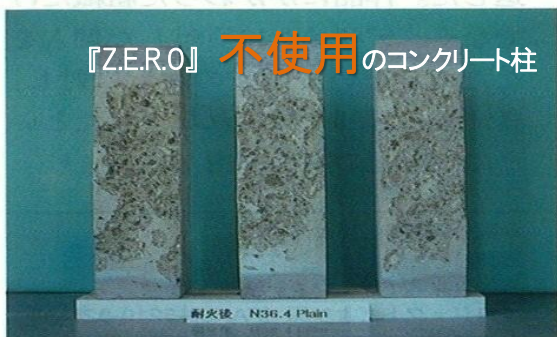


産廃をマテリアルリサイクルして耐火性能UP ～防災機能へ～

コンクリート 耐火性能実験 火炎バーナーで5分間で1200℃まで加熱

提供可能シーズ(技術・製品)内容

その状態を**30分継続**



シーズに関する知的財産権

発明の名称: 固化剤、固化方法及び成形体の製造方法

特許番号 : 2022-078709

出願人 : 合同会社 ESSH

発明者 : 石田和政

熱くない

1500℃

厚さ5cmのパーライトボード



実証済

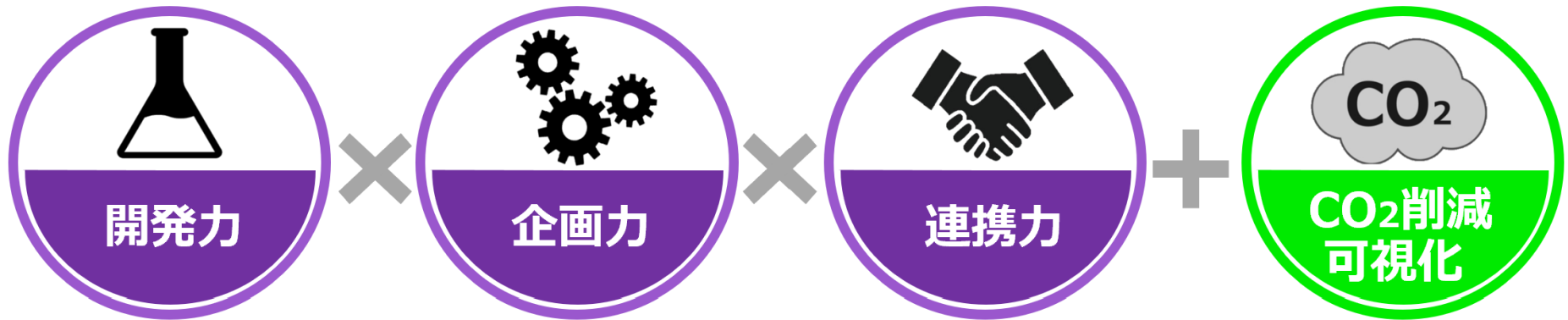
強力なバーナーを直接当て、

1500℃にも耐えられる

軽量・簡単にカットする事も可能

施工しやすい

CO2を削減しながら、業界横断プロジェクトを実現



▶「Z.E.R.O.」を製造する技術

経験値により、廃棄物から

『機能性 × 低炭素 × アップサイクル』

製品を実現

▶アップサイクル製品の提案

アイデアをまとめる企画力

お客様と共に創造していく

事を実現

▶製造メーカー等企業間を

繋ぎ、連携・任せる

販売先をプロデュースし、構築

▶ESSH計算ツールにより、

二酸化炭素削減率を可視化

(環境省の温室効果ガス排出

等の排出原単位から算出)

お問い合わせ先

合同会社 ESSH

担当： 代表社員 坂本 光代

E-mail: m.sakamoto@essh01.com

TEL: 080-6757-1641